

開催報告書

公益財団法人はごろも教育研究奨励会主催

令和8年度 はごろも「夢」講演会

一側性難聴の 支援を考える

見えにくい「聞こえの困り感」に寄り添い、
学術的背景と現場の実態調査に基づいた学
校・家庭での具体的な環境支援策を提示。

日時 2026年8月25日 14:00 - 15:30

場所 静岡市大里生涯学習センター

講師 岡野 由実 氏 (群馬パース大学准教授)

対象 教職員・難聴児支援者等 45名

参加者 本校全教職員

浜松聴覚特別支援学校、

沼津聴覚特別支援学校、

他の教育機関や行政機関より多数参加

(リアルタイムZoom配信)

4つの学びポイント

1. 見えにくい障害の理解



日常会話はスムーズに見えても、難聴側や騒音下での聴取、音源の方向特定という「3つの困難」を抱える実態と、精神的疲労について理解を深めました。

2. 教室環境と音響の調整



机や椅子の脚カバー装着等による騒音の減らし方や聴力の良い方の耳を教卓側に向けやすい座席配置、反響音への配慮など具体策を学びました。

3. 個に応じた補聴機器選択



補聴器やCROS補聴システム、ロジャー等のメリット・限界を理解し、本人のニーズと合意形成に基づく判断の重要性を共有しました。

4. 自己受容を支える関わり



講師の実母のエピソードを通じ、子どもを無条件で受け入れる姿勢から、学校教育において一人ひとりを包み込み、理解者として寄り添う大切さを学びました。

PHOTOギャラリー

